

## 再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課  
担当課長名：鈴木 克宗

<b>事業名</b>	一般国道458号 <small>もとあいかい</small> 本合海バイパス	<b>事業区分</b>	一般国道	<b>事業主体</b>	山形県
<b>起終点</b>	自：山形県大蔵村大字合海 至：山形県大蔵村大字清水	<b>延長</b>	3.0 km		
<b>事業概要</b>					
一般国道458号は、山形県新庄市を起点とし、山形県上市市に至る延長約112kmの幹線道路である。本合海バイパスは、昭和6年竣工の老朽化し狭隘な大蔵橋の架け替えを含み大蔵村の中心清水地区の狭隘で屈曲した現道の改良を目的とした2車線道路の整備である。					
H7年度事業化	都市計画決定なし	H8年度用地着手	H9年度工事着手		
<b>全体事業費</b>	76億円	<b>事業進捗率</b>	70%	<b>供用済延長</b>	0 km
<b>計画交通量</b>	2,500台/日				
<b>費用対効果分析結果</b>	B/C (事業全体) 1.5 (残事業) 4.8	<b>総費用</b> (残事業)/(事業全体) 25/79億円 事業費：21/75億円 維持管理費：4/4億円	<b>総便益</b> (残事業)/(事業全体) 119/119億円 走行時間短縮便益：112/112億円 走行費用減少便益：3/3億円 交通事故減少便益：4/4億円	<b>基準年</b> 平成16年	
<b>事業の効果等</b>					
・国土・地域ネットワークの構築（大型車すれ違い困難区間の解消が図られる） ・災害への備え（災害時の円滑な復旧活動を支援する） <span style="float: right;">他3項目に該当</span>					
<b>関係する地方公共団体等の意見</b>					
沿線市町村長・議長で組織する「国道458号整備促進同盟会」（平成4年8月）が結成されており、山形県中央部を縦貫して最上地域と村山地域を直接結ぶ本路線を整備し、国道としてのネットワークを拡大し、広域的な連携強化が図られるよう整備促進を要望（平成16年6月）されている。					
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b>					
地震発生後の緊急輸送を確保するための効率的な地震対策の推進を図る目的として、「山形県道路防災・情報連絡協議会」において平成9年1月に緊急輸送道路ネットワーク計画を策定し、当該区間を含む当該路線の一部は緊急輸送道路に指定され、路線として重要性が高まった。					
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b>					
平成16年度で大蔵橋の下部工が完成予定である。平成16年度までの進捗率は用地が約88%、工事が約54%である。主な残事業は、合海・白須賀地区の一部用地買収と大蔵橋上部工及び区間全般に渡る改良・舗装工事である。					
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b>					
清水地内の用地取得に時間を要し、事業の進捗に遅れが生じたが、今後は、平成18年度に大蔵橋を含む区間(L=0.8km)を供用予定であり、残る区間(L=2.2km)の早期完成を目標として事業を進める。					
<b>施設の構造や工法の変更等</b>					
再生砕石・再生合材等を積極的に利用するとともに、他事業(補助事業(特一)；秋山バイパス)との工程調整により発生土を積極的に受け入れ盛土材に利用するなどコスト縮減を図っている。					
<b>対応方針</b>	事業継続				
<b>対応方針決定の理由</b>	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。				
<b>事業概要図</b>					

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。